2025.10.31　VOL. 147

第147回　地区内中小企業
景　気　動　向　調　査　結　果

（2025年　7月 ～　9月実績）
（2025年 10月 ～ 12月予想）

＊＊＊＊＊＊＊＊　目　　次　＊＊＊＊＊＊＊＊

地区内データベース …… 1

全国・全道の概況 …… 4

調査の概要 …… 5

全業種総合 …… 6

製造業 …… 9

建設業 …… 11

卸売業 …… 13

小売業 …… 15

サービス業 …… 17

特別調査 …… 19

地 区 内 デ ー タ ベ ー ス

１．人　口・世　帯　数　動　向（令和７年９月末）

町　村　名	人　口			世　帯　数		
	人　数	前年同月比	３月末比	世　帯　数	前年同月比	３月末比
平　取　町	4,434	−49	57	2,437	18	81
日　高　町	10,829	−161	67	6,262	4	113
新　冠　町	4,968	−86	2	2,815	−9	13
新ひだか町	19,886	−437	1	11,235	−82	87
浦　河　町	11,060	−192	26	6,635	−11	75
様　似　町	3,709	−100	−34	2,013	−39	−10
えりも町	3,955	−120	−6	1,956	−45	14
広　尾　町	5,754	−155	−41	3,107	−27	2
大　樹　町	5,224	−72	11	2,834	7	28
日高・十勝地区合計	69,819	−1,372	83	39,294	−184	403
札　幌　市	1,955,612	−940	2,431	1,122,268	8,924	5,965
江　別　市	117,871	−226	355	60,100	294	484
石　狩　市	56,923	−264	−31	28,805	111	115
北広島市	56,181	−395	−142	28,545	157	66
恵　庭　市	70,245	−203	120	36,476	416	338
千　歳　市	97,039	−506	536	52,758	286	660
石狩地区合計	2,353,871	−2,534	3,269	1,328,952	10,188	7,628
苫小牧市	164,471	−1,287	−343	91,676	294	328
厚　真　町	4,228	−18	20	2,124	11	29
むかわ町	7,242	−116	80	4,182	22	138
胆振地区合計	175,941	−1,421	−243	97,982	327	495
営業区域合計	2,599,631	−5,327	3,109	1,466,228	10,331	8,526

（資料出所：各市町）

２．企　業　倒　産　状　況（令和７年７月～令和７年９月）

単位：件・百万円	件　数	負　債　金　額	前年同期比件数	前年同期比金額
苫小牧管内	1	10	1	10
（内・新冠町～えりも町）	1	50	−3	−747
北　海　道	71	7,012	−4	−5,330
全　　国	2,639	393,878	156	−621,452

（資料出所：東京商工リサーチ）

３．労働需給状況

令和 7 年 7 月

	浦　河（人・倍）	全　道（人・倍）	前年同月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 浦　河	前年同月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 全　道	前月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 浦　河	前月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 全　道
月間有効求人数	747	79,158	−11.28	−0.83	0.67	0.05
月間有効求職者数	509	84,998	−15.31	−1.29	−4.68	−4.03
月間有効求人倍率	1.47	0.93	0.07	0.00	0.08	0.04

令和 7 年 8 月

月間有効求人数	724	77,535	−14.32	−1.70	−3.08	−2.05
月間有効求職者数	520	84,178	−11.41	−0.16	2.16	−0.96
月間有効求人倍率	1.39	0.92	−0.05	−0.02	−0.08	−0.01

令和 7 年 9 月

月間有効求人数	782	77,208	−2.74	−3.30	8.01	−0.42
月間有効求職者数	533	83,993	−6.33	1.62	2.50	−0.22
月間有効求人倍率	1.47	0.92	0.06	−0.05	0.08	0.00

（資料出所：厚生労働省　北海道労働局）

４．町発注工事

令和 7 年 7 月　　単位：件・百万円

	7 月		累　計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町〜広　尾　町	29	857	169	4,555	40	476	175	4,852

令和 7 年 8 月

	8 月		累　計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町〜広　尾　町	25	400	194	4,955	25	1,286	200	6,138

令和 7 年 9 月

	9 月		累　計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町〜広　尾　町	29	362	223	5,317	38	365	238	6,503

（資料出所：各町）

５．建　築　確　認　申　請

単位：件数

		件　数	前年同期比	前四半期比
当 金 庫 管 内	7/7 ～ 7/9月迄の累計	10	1	0
(新ひだか町～広尾町)	7/4 ～ 7/9月迄の累計	20	-4	

(資料出所：各町)

６．浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金･貸出金残高（令和 7 年 9 月末現在）

単位：百万円・％

預　　金			貸　出　金		
残　　高	前年同月比	前　月　比	貸　出　金	前年同月比	前　月　比
194,804	1.39	-0.85	58,434	-0.42	-1.31

(資料出所：浦河・静内金融協会)

７．気　象　情　報

令和 7 年 7 月中

	本　　年			平年偏差・平年比		
	気 温 (℃)	降水量(mm)	日照時間	気 温 (℃)	降水量(%)	日照時間 (%)
浦　　河	21.6	56.0	163.5	3.9	39.6	141.4
広　　尾	22.1	104.0	168.3	5.5	62.6	155.4

令和 7 年 8 月中

浦　　河	22.9	93.5	181.4	3.0	57.9	133.4
広　　尾	22.3	160.5	127.9	5.7	61.1	95.1

令和 7 年 9 月中

浦　　河	19.5	235.0	200.4	1.8	162.7	122.6
広　　尾	19.1	306.5	192.0	2.5	116.7	142.8

(資料出所：国土交通省　気象庁)

全　国　・　全　道　の　概　況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2025年7～9月期（今期）の業況判断D.I.は△5.7、前期比1.2ポイント改善と、2四半期連続の小幅改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D.I.がプラス4.9と前期比横ばいにとどまったものの、同収益判断D.I.は△4.1と同0.5ポイント改善した。販売価格判断D.I.はプラス25.3と3四半期続けて低下した。人手過不足判断D.I.は△25.3と3四半期ぶりに人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は21.8％と前期比で小幅上昇した。業種別の業況判断D.I.は全6業種中、サービス業や建設業など5業種で、地域別には全11地域中8地域で、それぞれ改善した。2025年10～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は△4.3、今期実績比1.4ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、卸売業など3業種で、また、地域別には全11地域中7地域で、それぞれ改善の見通しとなっている。

日本銀行札幌支店が10月1日発表した北海道金融経済概況によると、北海道の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。すなわち、公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、増勢が鈍化している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、緩やかに増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

需要項目別動向

○公共投資･･･高水準で推移している。
○輸出･･･緩やかに増加している。食料品は、緩やかに増加している。
○設備投資･･･緩やかに増加している。9月短観(北海道地区)における2025年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。
○個人消費･･･物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、足もと増勢が鈍化している。家電販売は、弱含みの動きが一服している。乗用車販売は、持ち直しの動きが一服している。サービス消費は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに増加している。
○観光･･･増勢が鈍化している。
○住宅投資･･･弱めの動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、持家は弱めの動きとなっている。貸家は、横ばい圏内の動きとなっている。分譲は、減少している。
○生産（鉱工業生産）･･･横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、回復しつつある。金属製品は、持ち直しの兆しがみられている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。
○雇用・所得情勢･･･緩やかに改善している。
○物価･･･消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2％台半ばのプラスとなっている。
○企業倒産･･･横ばい圏内の動きとなっている。